

の受くる影響に對する對策を如何にすべきやの問題を、我が交通界に研究の對照物として提議してゐる。

今や失業者が蒸出して救済の聲が高い折柄のとき、社會政策審議會の決定に基いた勢であらうか、救済事業の一方法として地下鐵道促進の案が中央政府の問題と爲つて不日實行方法が決定さるゝらしいので、同社副社長の早川徳次氏などは躍起になつて運動してゐる、失業救済の手段としては等の事業を進めても、果たして失業者授職の効果を擧ぐるかは筆者等の頗る疑問とする所であるが、帝都眼抜き場所である日本橋乃至銀座通りの地下に鐵道を敷設する難事業を是に依つて幾分にも促進するの効果はあるに違ひない早く品川迄を開通せしめて行き詰つた路面交通を打破したいものだ。(た)

雜 詠

好 日 庵

下 雨 の 畦 を 馬 引 き 歸 る か な
松 一 木 残 し て 拓 き 陽 炎 へ る
夕 月 の 春 を 灯 せ し 野 守 か な
山 あ ひ の 小 田 打 ち 休 む 辛 馬 か な
簾 ふ れ て 尙 も 散 る 緋 の さ つ き 哉
薪 積 ん で 道 せ ば め あり 桐 の 花
手 車 に 子 を れ か せ お る 田 打 か な
醉 ふ て 殘 春 を 送 れ ば 河 鹿 鳴 く
木 の 葉 す れ に 寄 り 行 く 馬 や 藤 の 花
蛇 沼 氏 の 開 墾
高 原 を 拓 く 年 あり 風 薫 る